

としまち研掲示板

△▼△としまち研 各部会の次回開催予定△▼△

共同建替え部会	9月12日(木)
コーポラティブハウス部会	9月12日(木)
団地・マンション再生部会	9月18日(水)
人と暮らし部会	8月22日(木)
総務部会	9月20日(金)
広報部会	9月20日(金)

としまち研会員の方であれば誰でも部会に参加できますので、是非ご参加ください。

としまち研パンフレット第5版作成準備中

としまち研も設立満13年になります。これまで4回、パンフレットを更新してきましたが、第4版も、そろそろ賞味期限切れ。

としまち研紹介の新しい情報や増えてきた実績を掲載する新しいパンフレットをつくるため、飛澤(宜)理事を委員長とする「パンフレット編集委員会」を立ち上げて、現在、構成を検討中です。秋ごろの完成をめざしていますので、出来上がりをお楽しみに。

☆プロジェクトニュース☆

・コーポラティブハウス羽根木公園

引き続き参加者募集中。  
この地域は、大変暮らしやすいですし、付近には分譲マンションプロジェクトは当面ありません。お住まいをお探しのお知り合いがいらっしゃいましたら是非ご紹介ください。

【計画地周辺など】

- \*現在の建物の屋上とほぼ同じ高さになる計画建物の屋上からは、西には世界遺産に登録された富士山が見えますし、東には東京スカイツリーが見えます。
- \*現地は井の頭線：東松原駅から徒歩4分。駅からの商店街はまだまだ元気ですし、パルケというスーパーマーケットは24時間営業です。
- \*羽根木公園は、毎日の散歩コースとして最適です。

としまち研会員募集

としまち研では、活動に参加して下さる方(正会員)や活動を応援して下さる方(賛助会員)を募集しています。

詳しくはとしまち研のホームページをご覧ください。

まちづくりのご相談は事務局へ

- 借入金があるが何か建替えの方法はあるか。
  - お隣りも建替えを考えているようだが共同建替えは自分たちでは調整できない。
- というような難しいご相談も検討します。  
お気軽にご相談ください。

編集後記

夏本番を前にし、夏バテしました…。熱帯夜の続く毎日の後には、急に梅雨の戻りで涼しくなったり…。ゲリラ豪雨があったり水不足になったり。毎年同じ言葉を耳にしているような気がしますが、今年も異常気象ですね。

東松島市での活動が始まってから、ここ最近事務所内全員が集まるのが減りました。先日、久しぶりに全員そろってお昼ご飯を食べましたが、やっぱりみんなが揃うと楽しい昼食です。なぜか外に食べに行かず、みんなそろって事務所でご飯を食べることが習慣になっています。(事務局 飛澤)

〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町33 COMS HOUSE 2階  
tel 03-5207-6277 fax 03-5294-7326  
E-mail info@tmk-web.com ホームページ http://www.tmk-web.com/  
皆さまからのご意見、ご感想をお待ちしております。

としまち研現在の会員数  
正会員 66人 賛助会員 32人  
編集発行人 平石郁夫  
事務局担当 飛澤玲奈



としまち研会報 第64号

おいらのまち

2013.7

発行 NPO都市住宅とまちづくり研究会 理事会

東松下町々会創立60周年記念事業～記念誌発行、記念式典施行～

としまち研事務所のある「東松下町々会」は、去る6月15日(土)に千代田区区長や近隣町会の幹部の皆さんをお招きして、町会創立60周年記念式典を行いました。

なぜ60周年なのか、昔からの下町：神田には、もっと前から町会があったのではないかと疑問をもっていました。創立60周年記念誌～未来への覚書き～巻頭の佐藤嘉紘町会長あいさつに、しっかり記述されていました。



町会の60年を写真で振り返る

- ・1945年7月26日、「ポツダム宣言」を受諾し、8月15日、第二次世界大戦が終了。連合軍に占領される。
- ・1947年、町会も軍国主義や国家主義の温床であるとして、連合軍総司令部GHQのマッカーサー元帥の命令で解散させられた。
- ・1951年、48ヶ国との間でサンフランシスコ平和条約に調印した。
- ・1952年4月、平和条約が発効され、「ポツダム宣言の受諾に伴い発する命令に関する件の廃止に関する法律」で、町会の解散を命じた政令が失効。

このような背景のなかで、1953年に新しい東松下町々会が誕生し、60周年を迎えた今年、記念事業が行われた次第です。

としまち研は、2000年8月4日に神田紺屋町南町会にあった神保ビル7階の事務所で産声を上げ、同時期に、神田東松下町で、共同建替えとコーポラティブ方式の組み合わせによる事業を始め、2002年6月に“COMS HOUSE”が完成。2階に引っ越してきました。

以来、町内のコーポラティブハウスは2004年4月に“桜ハウス”が完成、2012年2月に“こはす”が完成し、町内の人口も2003年を底に回復してきています。

としまち研は、東松下町々会の60年の歴史のなかで11年だけしか時間を共有していませんが、佐藤町会長をはじめとする町会役員や、昔からお住まいの町会員の皆さんから暖かく受け入れてもらい、コーポラティブハウスの住人の皆さんとともに、地域社会の活性化に貢献するべく一生懸命活動しています。

(としまち研理事長 杉山昇)

おいらのひとりごと

『おいらのひとりごと』はとしまち研会員によるリレー形式のエッセイです。

『子供の目線』としまち研 阿部久美子

私の息子を含む少年剣士5人は、それぞれの震災経験を乗り越え、宮城県予選で準優勝をし、7月30日(火)に日本武道館で開催される、全国大会への出場を果たしました。個人戦ではなかなか入賞できない4・5年生主体のチームですが、団体戦となると、お互いを思いやる友情が力となり、よい結果を残すことができました。

この道場では、剣道とは関係のない、運動会・合宿での登山・芋煮会でのリクリエーションなど、様々な行事があり大騒ぎで楽しめます。その中でも、子供たちよりもひととき目を輝かせ、はしゃいでいるのは団長先生です。そうすることで、防具をつけた辛い稽古から気持ちが離れそうになった子供や、なかなか選手になれない子供の輝く場所をつくっているようです。

そんな団長先生の礼の身のこなしは、実に美しく気持ちを引き締められる思いになります。

遠回りでも、子供の気持ちに寄り添うことで、勇気のある人に育つのだと思います。

※次号の『ひとりごと』は五十嵐敦子さんです。お楽しみに。

## 一木会ご報告（原則、毎月第一木曜日に COMS HOUSE で行う勉強会・交流会です）

## ★第214回一木会（2013. 6. 6）

（株）アーキテクト・アソシエイツ  
・ヨコハマ代表取締役の平山正義氏に、「密集市街地における修復型まちづくり～横浜市神奈川区浦島町での取り組みから～」というテーマで、共同建替えが困難な諸条件がある密集市街地の改善策としての「修復型」について熱く語っていただきました。  
浦島町での実践的な取り組みが更に進んだところでもう一度お話をしてくださるとのことですので、次回の進捗報告がまた楽しみです。



## ★第215回一木会（2013. 7. 4）

NPO 法人景観デザイン支援機構・副代表理事の八木健一氏に、「景観法と景観アドバイザーの仕事」をテーマにお話をいただきました。  
当日は、参加者人数分用意してくださった世田谷区の「風景づくりのガイドライン」をもとにお話をしてくださったのですが、とてもわかりやすい説明で、「まちの風景をつくる、景観を守る」ということの重要性について、大変興味深い内容でした。



## 今後の一木会予定

## ★8月（8月1日）【公開勉強会・第216回一木会】（お申し込みはとしまち研事務局まで）★

テーマ：『東日本大震災・復興まちづくりの現状～被災地からの声を聞き、住民主体の復興を考える～』

ゲスト：小野 竹一 氏 東矢本駅北地区まちづくり整備協議会 会長

藤本 昌也 氏 NPO コーポラティブハウス推進全国協議会 理事長

## ★9月（9月5日）【第217回一木会】★

有限会社エクサピーコ 代表 ジュリアーノナカニシ 氏 「美しい村の歩き方」（仮題）

## ケアタウン小平・いっぴく荘 見学会報告

5月23日（木）に元いっぴく荘居住者の今野さんの紹介で、としまち研の人と暮らし部会メンバー7名、NPO 自然大好きe-街づくりの湯沢さんご夫妻の計9名で、小平市御幸町にあるケアタウン小平・いっぴく荘にお邪魔しました。

ケアタウン小平は、外科医、ホスピス医として経験を積まれた山崎章朗先生が、病院ではその場所に来た人しかホスピスカアを提供できないという問題意識から、ホスピスカアの大切な部分を地域社会の中で提供していきたいという思いからスタートしており、1階にデイサービスや訪問介護の事業所、山崎先生自身が院長を務める24時間対応の在宅療養支援診療所「ケアタウン小平クリニック」、2～3階に食堂や展望浴室などがある全21戸の賃貸住宅「いっぴく荘」が入り、それぞれが情報共有を行うことでチームケアを実現しています。

当日はお忙しい中、山崎先生ご自身からケアタウン小平の設立経緯と建物内部を説明していただき、たっぴりと建物内の見学させていただきました。

これらの取り組みの他にも、介護する家族や看取りを終えた遺族のサポートを目的とした遺族会「ケアの木」や子育て世帯の支援を目的とした子供向けイベントなど、様々なイベントを開催しているというお話もお聞きすることができました。

山崎先生のお話しの中に『遠くの親戚より近くの他人』という言葉が随所に使われていたことがとても印象深く、ケアタウン小平・いっぴく荘に関わる方々すべての思いがそのまま体現されたあたたかい空間となっていました。

人と暮らし部会が考える、高齢者の「1人でも安心して暮らせるすまいづくり」を検討するうえで、とても勉強になる見学会となりました。



山崎先生の話に熱心に聞く視察メンバー

## 大交流会開催さる～東矢本駅北地区まちづくり整備協議会～

新しいまちの区画決定手順（案）の検討、快適な暮らしを育む街並みルールの検討など協議会としての活動が本格化してくるなかで、去る6月29日（土）、宅地造成工事はじまった東矢本駅北地区に集団移転を希望している協議会会員の大交流会が行われました。

現在の焦点は、昨年末から準備を進めてきた「どの区画（宅地）にどの世帯が入るか」ですが、なかなか一堂に会する機会がない協議会会員の大交流会は、役員・部会員やボランティアの皆さんが準備した焼肉、うどん、そばはっと汁などでテーブルを囲み、久々に会った協議会会員同士の会話がはずみました。



お昼を食べながら…懇親風景



小野竹一会長ととしまち研お手伝い隊

会場は、建物が津波で壊滅的な打撃を受け、それを大修繕して再生したばかりの大曲市民センター。としまち研からは、総勢14名+現地事務局2名のお手伝い隊を結成し、前日から現地入り、協議会役員の皆さんなどと一緒に準備をしました。

東松島市では、集団移転と新しいまちづくりに向けた着実な活動が行われています。今後も、お手伝い隊を結成する場面では、皆さんにお声掛けをしますので、一緒に復興支援をしていただける方、ご協力をお願いします。

（としまち研理事長 杉山昇）

## 大規模修繕業者の決定（セントラルレジデンス四番町シティハウス）

「セントラルレジデンス四番町シティハウス」（千代田区）では、7月28日（日）に開催された管理組合の臨時総会で、第1回目の大規模修繕工事の業者を決定しました。

昨年5月、としまち研が大規模修繕コンサルタントとして参加し、修繕委員や理事の方々と一緒になって、建物診断やマンションの不具合と改良希望アンケート等に取組み、修繕工事等の内容を固め、本年5月から工事業者の選定作業に入っていました。

選定は、まず4社から見積書を提出してもらい、その結果等を踏まえた上で2社に絞り込み、ヒアリングを行って「トリヤマ株式会社」に決定しました。

ヒアリングでは、見積り詳細や会社の取組体制、現場代理人候補者の姿勢など、熱心な質問が続きました。業者決定の大きな決め手となったのは、工事金額の他に、ヒアリングで伝わった会社や現場代理人候補者の熱意と住民の皆さんへの配慮でした。ヒアリング後に開かれた臨時理事会では、全員一致で内定を決めています。

8月のお盆が明けると、いよいよ工事着工です。

（としまち研理事 市野恵司）



説明資料を熱心に見る組合員の方々

## （仮称）CH羽根木公園 バレエスタジオの解体工事が始まりました

（仮称）コーポラティブハウス羽根木公園は、4月の建設組合設立から早や3ヶ月半、共用部や各住戸内の設計も一段落して、現在、建築確認申請の手続きに入っています。

計画地では、7月下旬より、旧貝谷学園の建物2棟（参加者募集説明会や設計打合せなどで使用してきたバレエスタジオがある4階建と、その南側にある2階建）の解体工事に着手しました。

工事に先立ち、7月19日（金）に地元の菅原神社の神主さんにお越しいただき、「安全祈願祭」が執り行われました。長年、この地で貝谷バレエ団や地域の皆さんから親しまれてきた建物に敬意と感謝の意を表するとともに、解体工事が無事行われますよう、（一財）首都圏不燃建築公社、貝谷バレエ団関係者、施工者（松井建設（株））及び事業スタッフ一同で祈願しました。

新築工事は11月から開始予定です。

（としまち研事務局 関 真弓）